事業所名	てふてふ	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	8 年	1 月	1 日

法人（事業所）理念		・子どもたち一人ひとりの個性や人権を尊重し、主体性を持ち自立した生活が送ることができるよう、保護者や地域社会とともに子どもたちを支援する。			
支援方針		・個々の力を引き出すための個別活動や、小集団の活動を行い、集団の中で、みんなが意見を出し合い、お互いを尊重できる気持ちや想いを育む療育を提供する。 ・個々の自己決定や自己判断を大切に、意思決定する力を支援する。			
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	健康状態の把握、食事、排せつ、更衣、身だしなみなどの身辺自立に向けた支援。準備、片付け、手洗い、うがい、整理整頓など日常生活動作の習慣化の習得。			
	運動・感覚	粗大運動を通して姿勢の保持や実際の身体と身体感覚との統合を支援する。走る、跳ぶ、投げる、蹴るなど、体を動かすことは楽しいと言う気持ちを育む。 微細運動（つかむ、ひねる、つまむ、とおす、はる、切るなど）を通して、手指の巧緻性や感覚刺激を得ることで五感の向上とバランスを整える。			
	認知・行動	児童・生徒一人ひとりの認知や行動の特性を理解、把握に努め、一人ひとりに必要な配慮（具体物やイラスト、写真、ワークスケジュールなどを用いる）の中で認知（空間・時間・数の概念、ルール理解、）と行動（行動調整、適切な行動、場面に合った行動、活動、遊び、学習など）の習得を支援する。 運動、音楽活動、創作活動、戸外活動、アニマルセラピーなど、五感を刺激する活動を行うことで知覚し、認知に繋げ行動に移すことができるように支援する。			
	言語 コミュニケーション	児童・生徒一人ひとりの発達状況や言語理解、コミュニケーションツールを把握し、発達の段階に合わせた配慮（絵カード、文字カード、指差し、表情や身振りなど）の中で意思を伝えられるよう支援する。集団活動等の機会を通じて、意図的な声掛けや個々に合わせた環境設定により共同注意を促し、徐々にその行動や意図を理解できるよう支援する。			
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の時間の支援スタッフとのやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係の形成を促す。 遊びや活動におけるルールや関わり方、距離感など今後の学校生活や、社会生活に適応していくために必要な力の向上を促す。 様々な場面（貸して、入れて、一緒に遊ぼう等）における職員や友達への接し方、伝え方を見守り、必要に応じた介入を行う。 児童・生徒一人ひとりの興味・関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動や運動・感覚機能を刺激する活動（例：風船バレー等）の提供により、他児と活動へ参加することの楽しみや集団に参加する際のルールや手順を徐々に理解できるように支援する。			
家族支援		必要の際、いつでも相談（対面、電話、LINE等）できる体制、環境の設定。　お子様の発達状況が互いに確認できるよう、細かな情報交換・共有を行う。保護者の方の就業保障のための預かりや、ご家族のレスパイトのニーズに対する延長支援を実施。	移行支援	学校や併用事業所とのモニタリング会議、進路等の移行会議への出席により、児童の心身の状況や生活環境、様子の情報共有や交換による連携を実施。	
地域支援・地域連携		学校や関係機関との連携を密にとる。また、地域のイベントへの参加や公共の施設の利用など、地域の方々と交流できる機会を設け、社会のルールや様々な経験を積み重ねられるよう支援する。他事業所との交流。	職員の質の向上	外部研修の受講や法人内研修、事例検討などを実施し、職員の知識やスキル専門性の向上を図る。	
主な行事等		季節行事、制作（正月遊び、節分、ひな祭り、お花見、いもの苗植え、こどもの日、ファミリーデー、七夕、プール、お月見、ハロウィン、お芋ほり、敬老の日、クリスマス等） 長期休み（外出活動、公共交通機関乗車体験、クッキング、買い物体験等） 外部講師による制作や体験。			